

B-Net 翔

第21号

発行/ 株式会社 日本環境ビルテック

東京都豊島区東池袋 3-20-3 東池袋 SS ビル 3F

TEL 03-5979-5545 代表

■目次

- ・外国人技能実習生受け入れ報告
- ・SMART HR の導入について
- ・辞令交付式及び慰労会開催
- ・災害に備える

■外国人技能実習生受け入れ報告

2023年12月にネパールから来日した技能実習生たち4名に加えて、2024年1月に遅れて1名が来日しました。彼女たちは、ようやく日本にも慣れ親しみ、ビルクリーニング作業研修に真剣に取り組む傍ら、日本語の勉強に勤しんでいます。彼女たちの明るい笑顔が他の従業員の癒しになっています。

当社で受け入れた外国人技能実習生は、BOHORA BISNU MAYA さん(18)、CHAND KRITI さん(22)、DHHAL KHILA MAYA さん(22)、TAMANG KALPANA さん(29)、SHERPA CHINDOMA さん(30)の5名です。

来日の際に飛行機に搭乗するのも初めて、来日して電車に乗るのも初めての経験であり、日本での見るもの聞くもの全てが感動と驚きの毎日であったようです。彼女たちの楽しみは、福利厚生の一環として会社で行っている系列会社が経営するAsian レストランで月1回の食事会で本場ネパールの料理を食べられる事だそうです。これからの3年間は、ビルクリーニングの技術と知識を習得してビルクリーニング資格の合格を目指して励む必要があります。特に、日本語は漢字・ひらがな・カタカナと世界で一番難しい言語ですので人一倍の努力が彼女たちを待ち受けています。





■ SMART HR 導入について

当社は、従業員数が2000人を超える組織規模となり、社内の従業員の人事労務管理の合理化を目指して2023年に導入したSMART HRの稼働率が間も無く100%となります。SMART HRシステムは、給与明細をPCやスマートフォンからサイトにアクセスして確認及び出力が出来るシステムです。また、年末調整も簡単なアンケート式の入力で処理でき、会社からの従業員に対する広報や情報の共有が出来るシステムです。これにより、ペーパーレス化や発送処理の手間が省けて経費節減にもつながっております。当社のSDGsに向けた取り組みの一環とも言えます。



■辞令交付式及び慰労会開催

4月12日に東京本社にて全体会議及び辞令交付式が行われました。その後、当社関連会社が経営するアジアンレストラン「GaNeZa 東池袋店」にて慰労会が開催されました。当社は、今年の1月から繁忙期に入り官公庁34件の新規受託契約を結び、約150名の従業員を採用して教育研修から現場配属と大変慌ただしい日々がひと段落した事からの慰労会の開催です。慰労会では、マジックショーとモノマネ芸人の2組が場を盛り上げて戴きました。皆さん、本当にお疲れ様でした。



■災害に備える

2024年（令和6年）1月1日16時10分、石川県の能登半島地下16kmで発生したマグネチュード7.6の内陸地殻内地震は最大震度7を観測し、死者245人（石川245）、重傷320人（新潟5、富山3、石川312）、全壊8,695棟（新潟102、富山232、石川8,361）、半壊18,986棟（新潟2,899、富山687、石川15,388、福井12）という大規模な被害を出しました。また、千葉県太平洋沖ではスロースリップによると見られる地震が頻発しております。現在、日本は東海から九州にかけての東南海地震の発生リスクが懸念される他、日本全土においていつ巨大地震が発生もおかしくない状況にあります。日本は、世界でも珍しく4つの地殻プレートが重なり合う場所に位置しており、「地震大国」と言われています。

内陸型地震の場合は震度が大きくなり、海溝型地震の場合は、揺れの他に津波のリスクを伴います。一般的に木造建築物の場合は横揺れに弱く、瓦屋根を使用した住宅の場合は倒壊するリスクが高くなります。また、鉄筋コンクリート建築物の場合は縦揺れに弱く、一・二階部分が潰れるリスクがあります。日本の建築物においては2000年に耐震基準が見直され、2000年以降の建築物は、海外と比較しても地震には強く出来ております。しかし、海溝型地震で津波が発生した場合はどうでしょうか？東京都が仮に20mの津波に襲われた場合、23区では新宿区・豊島区以外は津波の被害に会



い、津波は川を逆流し、埼玉県にまで被害が及ぶと言われています。高層ビルや高層マンションだから津波は大丈夫だと考えている方もいるかと思いますが、当然の事ながらライフラインが破壊され電気・ガス・上下水道が機能不全となり完全に陸の孤島と化してしまうのです。首都直下型地震が発生した場合、東京都はライフラインの復旧には電気で6日、上水道で30日、ガス（都市ガス）で55日を目標としています。しかし、津波による被害が同時発生した場合には、ライフラインの復旧には目途が立たないのが実状です。

最低限の防災対策として、飲料水（一人1日3リットルを目安に、3日分を用意）、食品（ご飯[アルファ米など一人5食分を用意]、ビスケット、板チョコ、乾パンなど、一人最低3日分の食料）その他として下着、衣類、トイレトイレットペーパー、ティッシュペーパー、マッチ、ろうそく、防災用トイレ、カセットコンロとボンベなどが必要です。非常に広い地域に被害が及ぶ可能性のある南海トラフ巨大地震では、「1週間分以上」の備蓄が望ましいとの指摘もあります。また、飲料水とは別に、物を洗ったり、トイレを流したりするための水も必要です。日頃から水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水をいつもはっておくなどの備えをしておく必要もあります。実際に災害にあった方の話では、「サランラップを食器に貼って使用すると洗う必要がないので重宝した。」との声もあります。最近では、キャンプ用のバッテリー（太陽光パネル付き）を備えている方もおります。災害は、いつ発生するかも分かりませんので今からハザードマップの確認と準備を心掛ける必要があると思います。



【広告】

Asian Restaurant **GaNeZa** 東池袋店

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 4-6-10 ルナ大住ビル B1F

（地下鉄有楽町線東池袋駅下車徒歩2分 6番出口 地上エスカレーター上がる）

03-5962-0883